

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価結果表 事業所名：丘のりんご

調査実施期間：令和3年1月14日～令和3年1月30日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容によりスペースを区切り、ガレージを利用したり工夫している。 ・活動に応じてテーブルを動かすなど工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・シフトを組み、人員が日々充足するように調整している。 ・子ども一人一人に目配り、気配り出来る人数配置が出来ている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・玄関入口にスロープが付けられている。 ・引き続きバリアフリー化に努める。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・県の研修会等機会を確保している。 ・様々な研修会への参加の機会がある。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・成長に合わせてプログラムを計画的に変えて行けるように、日々考えている。 ・季節に合わせた活動が良く出来ている。 ・製作に使う資材等、毎回工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			平日や休日に合わせたプログラム構成に努めている。多様なメニュー構成である。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・小集団が好きな子、個別対応が好きな子など、特性に応じた対応に努めている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ミーティングが出来ている。 ・開所前に必ず、打ち合わせ、反省事項の

						共有、連絡等こまめに実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等共有しているか	6			・日々の業務に追われて出来ない日もあるので、今後改善したい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・毎日、日誌に記入出来ている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			・児童発達管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			・送迎時には、学校教職員と話し、情報共有に努めている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5		1	・利用児のバギーの調整が必要な時に、リハビリテーションの専門職にお越し頂き、実際の調整と指導を頂いた。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		1	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	1	2	3	・現在は対象児がいないが、今後対象児が発生した場合には情報共有に努めたい。 ・卒業の児はいない。今後対応していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	・今年度はコロナ禍により、交流の機会が実現できなかった。今後は、何らかの対策を講じて機会の確保に努めたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5		1	・外部会議出への出席は、人員不足が解消された時点で機会を増やしたいと考える。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・送迎時において、当日の出来事など保護者に伝えている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		1	・ペアレントトレーニングは、当法人の重要プログラムであり、臨床心理士による定期的な実施に努めている。今後も継続する。
保護者への説明責任	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・利用開始時において説明している。 ・運営規定・利用明細等、印刷物で公表し、質問にも常時対応する体制としている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・必要に応じて事業にお越し頂き、直接相談に応じている。

	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	2	・保護者会は実施している。保護者同士の交流の機会や父母会設置については、今後検討する。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	6			・苦情受付は常時開設。周知済み。 ・事案発生時の初動から同日中に解決策を講じる体制を敷いている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・「りんご通信」を定期発行し、活動内容の報告等を行っている。内容の実に努める。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・日々の活動では、送迎時における保護者との会話に努めている。その際に、必要な情報を共有することとしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			自治会等のご協力により、地区行事に参加する機会を頂戴しており、地域住民と連携した事業運営に努めている。交流の場も年数回設けている。本年度は、ガレージコンサートを企画し、近所の住民をご招待して実施した。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			防災訓練等、年間事業計画に盛り込み、年2回は消防署による直接の訓練指導を受けている。利用児も訓練に参加している。訓練のバリエーションを増やしていきたい。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			職員会議等で、虐待防止に関連する研修を実施している。外部研修に参加した職員による、職場での報告会を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5		1	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・顔末書作成後、全職員間で内容確認（回覧）し、再発防止に向けた検討を行っている。